

1 計画の推進に向けた視点

(1) 市民起点の取組

「暮らしやすく、希望あふれるまち 上越」の実現のためには、市民一人一人の尊厳が守られ、安全・安心に暮らし、生涯にわたり、学び、挑戦し、活躍できる地域の確立を目指していくことが必要となります。

あわせて、市政運営に当たっては、市民の立ち位置に身を置き、暮らしや地域の実相見つめる中で、課題の本質を的確に見極め、知恵を絞り、工夫を重ねながら有効な解決策を見出していくことが重要となります。

このことから、まちづくりの主役となる多様な市民と情報を共有し、対話を通じて共感を得ながら政策・施策を遂行するなど、市民を起点とした取組を進めていきます。

(2) 連携、協働・共創による取組

社会経済環境の急速な変化に伴い、地域が抱える課題が複雑化・多様化する中、その解決に向けては、行政だけではなく、様々な主体がそれぞれの役割の下、得意分野をいかし、相互に連携しながら対応していくことが必要な事案が増えてきています。

こうした公共的課題の解決のためには、行政はもとより、市民・事業者・団体・地域など、多様な主体が、協力して共に働くという「協働」にとどまらず、目標設定の段階から連携を深め、実践的行動を通じて、共に新しい価値を創っていく「共創」の考え方を持ち合わせながら、取組の実効性や持続性を高めていくことが重要となります。

このことから、人や地域のつながりを、より強固なものとしながら、多様な主体が手を取り合い、連携、協働・共創によるまちづくりを進めていきます。

2 計画の進捗管理

本計画の実効性、即応性を高めるため、施策ごとに成果を表す指標を設定し、計画・実施・評価・改善のPDCAサイクルを通じて、施策・個別事業の取組状況の評価を行い、進捗管理を行います。

なお、持続可能な行財政運営に向けた取組と整合を図るため、「第7次行政改革推進計画」、「第3次財政計画」及び「第4次定員適正化計画」と一体的な運用を図ります。

PDCAサイクルとは・・・Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点を進捗管理のプロセスに取り込み、継続的な改善を推進するマネジメント手法

3 計画の評価検証

本計画における基本計画（前期及び後期）の計画期間終了時には、毎年度の進捗管理における施策・個別事業の評価、指標の達成状況、「市民の声アンケート」の結果等を踏まえ、本計画に基づく政策・施策の成果を評価検証するものとします。

4 分野別主要計画の管理

本計画は、市政運営の総合的な指針となる当市の最上位計画であることから、分野別主要計画は、本計画が示す基本構想、基本計画の考え方を的確に反映する必要があるとします。

今後、分野別主要計画を新規に策定する場合は、本計画の内容に即して策定するとともに、既存の計画については、それらの見直しに合わせて整合を図ります。

【第7次総合計画の進捗管理イメージ】

